

# IT相談窓口

姫路商工会議所では、IT相談窓口を設けています。  
この相談窓口では、ITコーディネータがITに関するギモンや課題にマンツーマンでアドバイスします！

開設日  
時間

原則毎週木曜日 9:00~17:00  
2月は、1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)開設予定です。  
※都合により、日程を急遽変更する場合がございます。

予約制・無料

場所

姫路ものづくり支援センター  
(姫路商工会議所 本館2F)



## いまだ聞けない ITトピックス



### データのバックアップ

姫路ものづくり支援センター IT専門サポーター 鵜野 昭二  
(ITコーディネータ)



大学を卒業後、繊維会社に約4年間製品開発を担当。その後、ソフトウェア会社のシステム開発、建設会社の経理事務を経験し、現在の有限会社フレバー情報システムを設立。主に業務系システムの提案、開発から運用・保守業務までを生業として現在に至る。

今回はデータのバックアップについて考えてみたいと思います。

データのバックアップとは万が一の事態に備えてデータを別の媒体にコピーすることです。

万が一の事態とは

- ・パソコン利用者の操作ミスによるデータの削除
  - ・マルウェア（ウイルス）感染によるデータの改ざん、消去
  - ・データが保存されている装置（ハードディスク）の故障
  - ・地震、火災、水害による装置（パソコン等）の破損
  - ・パソコンの盗難
- などが考えられます。
- またバックアップすべきデータとは
- ・Excel、Wordなどの資料、写真、動画、住所録、メールのデータ
  - ・顧客情報、商品情報、売上等の取引データ、会計データ
  - ・技術情報、設計情報

などがあります。

これまでの長年に亘って蓄積されたこれらのデータが失われればそのダメージから立ち直るには長い時間と労力を要することは間違いありません。業務システムを使用している場合は会社業務そのものの停止を意味します。

最近では夏になるとゲリラ豪雨、集中豪雨による被害が多発しており、いつどこで水害が起こってもおかしくない自然環境になっています。

事業継続計画の観点からもしっかりとしたバックアップ計画を立てなければいけません。

データのバックアップ先（コピー先）としては一般的に下記のものがあります。

- ①USBメモリ、CD/DVD、外付けハードディスク、テープなどの外部記憶媒体
- ②ネットワーク上のハードディスク
- ③クラウドサービス

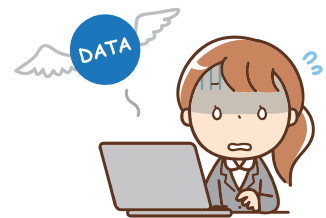
①については比較的低価格で手軽に利用できます。しかしその記憶媒体をパソコンに付けたままの状態にしていると火災等で事務所が丸ごと被害に遭うとバックアップの意味がなくなってしまいます。

②も①とほぼ同じ方法になりますが複数の人間が同じ場所にバックアップを行うので利用する側は便利ですが残容量の監視など管理が面倒になりがちです。

③はデータをクラウド（インターネット）上に保存します。よく知られているサービスとしてDropBox、OneDrive等があります。バックアップ先がインターネット上ですので災害時のバックアップ先としては適しています。

いずれにしても会社の業務内容、パソコンの利用状況、データの種類によってバックアップ方法は変わってきます。自社に合った最適なバックアップ方法を見つけ、万が一の事態に備えてもらいたいと思います。

データを失くしてから「バックアップ、しようと思っていたのに…」とならないように。



「IT相談窓口」ではこのようなご相談も受け付けております。



お気軽に、お電話・FAX・メールでお問合せ下さい。

姫路ものづくり支援センター（姫路商工会議所・姫路市）

TEL 079-221-8989 FAX 079-288-0047 メール kougyou@himeji-cci.or.jp